

林業・木材製造業労働災害防止協会
提出資料
(会員へのアンケート調査結果)

会員事業場に対するアンケート調査結果

林業・木材製造業労働災害防止協会

1. 事業場について

回答会員事業場数	675事業場
回答事業場常用労働者数計（人）	18,521人
平均常用労働者数（人）	27.4人

2. 会員年数について

	事業場数	%
1年未満	7	1.0
1年以上3年未満	18	2.7
3年以上5年未満	13	1.9
5年以上10年未満	42	6.2
10年以上	576	85.3
無回答	19	2.8

3. 会員事業場の労働災害防止について

（1）「林災防」会員となってからの労働災害防止効果について（複数回答）

	事業場数	%
・安全衛生活動が活性化した	360	53.3
・安全衛生水準が向上した	339	50.2
・職場のリスクが減少した	182	27.0
・労働災害の減少、ゼロまたは少ない状態が持続するようになった（不休災害を含む）	250	37.0
・安全衛生管理の責任が明確になり、組織的、継続的に実行されるようになった	245	36.3
・安全衛生についての費用対効果が向上した	68	10.1
・従業員の士気（モラル）が向上した	267	39.6
・使用者としての労働安全衛生に対する意識が高まった	505	74.8

（2）「林災防」の会員として取り組んだ事項について（複数回答）

	事業場数	%
・「林災防」が実施する安全衛生教育・安全衛生研修を受講した	522	77.3
・「林災防」が実施する技能講習を受講した	489	72.4
・「林災防」が作成したテキスト、パンフレット、資料等を活用した事業場内研修を実施した	376	55.7
・林材業リスクアセスメントを導入した	327	48.4
・指差し呼称、危険予知訓練（KYT）の徹底に取り組んだ	332	49.2
・事業場または機械の自主点検の実施に取り組んだ	332	49.2
・チェーンソー作業用防護衣、刈払機作業用防護具の導入を進めた	337	49.9
・「林災防」の安全管理士による個別指導・支援を利用した	153	22.7

（3）「林災防」の事業で活用したことのある事業について

	役に立った	役に立たない	どちらでもない
① 林材業リスクアセスメントの普及定着	478 80.1%	5 0.8%	114 19.1%
② 林材業労働法令等集団指導会	370 72.8%	2 0.4%	136 26.8%
③ 安全管理士、林材業労災防止専門調査員による合同安全パトロール	384 75.7%	6 1.2%	117 23.1%
④ 高性能林業機械オペレーターの安全対策研修会	306 65.4%	2 0.4%	160 34.2%
⑤ 林業巡回特殊健康診断	464 79.9%	4 0.7%	113 19.4%

会員事業場に対するアンケート(調査方法)

(1) 調査方法

林災防会員事業場のうちから支部が無作為で抽出した会員事業場にアンケート調査票を郵送で発送し、郵送・FAXにて回答を得た。

(2) 調査対象

林災防会員事業場のうちから、支部が任意で抽出した675事業場を対象とした。

(3) 調査期間

平成23年7月1日～平成23年8月20日

(4) 回収状況

回収数:675件

回収率:100%